

研修 評価

研修名	初めての看護研究（基礎編）				
領域	自己教育・研究能力を高める研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	学習段階レベル（Ⅱ・Ⅲ） 募集数(80人)応募数(35人)参加数(34人)会員数(33人)非会員数(1人)				
日 時	令和6年10月30日（水曜日） 10:00 ～ 16:00				
ねらい（目標）	1. 看護研究の基礎が理解できる 2. 臨床現場での気づきを研究課題につなげる				
講 師	服部 美香 群馬県立県民健康科学大学 准教授				
内容・方法	○講義内容 1) 看護研究とは 2) 看護研究の進め方 3) 文献検討の意義と検索方法 4) 倫理的配慮の実際 5) 研究計画書の書き方 ○研修方法 講義・演習				
結 果	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; float: left; margin-right: 10px;"> 評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標（知識技術）の習得度（できた、ほぼできた）80%以上 ④アンケートの意見 </div> ○参加者数 34名 43% 【達成・未達成】 ○アンケート結果（回収率50%） ・理解度 100% 【達成・未達成】 ・自己課題の達成度 100% 【達成・未達成】 ○受講者の意見 ・学校で学んだ看護研究よりさらに学びを深められたと感じました。 ・看護研究の進め方などを学ぶことができました。 ・研究の進め方の流れや計画書に何を書けばよいのか具体的に提示していたのでよかったです。 ・文献検索の重要性を理解できた。 ・難しかった。 ・わからない単語が多く理解に苦しみました。				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】・達成しなかった ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：妥当だった。 ・アンケート結果：研修内容の満足度は、「満足できた・ほぼ満足できた」と100%が回答し、「研修のねらいと内容の整合性」も88.2%が「整合性があった」と回答した。 ○ 総括 ・定数の半数以下の参加者であり、今期で終了。 ・看護研究は取り組む必要はあり、今後の研修再開など検討必要。				
課 題	・特になし				
担当者	教育委員				